

果樹・茶用殺虫剤

エクシレル[®] SE

powered by

CYAZYPYR[®]
ACTIVE INGREDIENT

米国・台湾でも愛されるお茶作りを。
世界に誇れる品質を虫害から守り続けます。

- 発蛾最盛期の成虫期防除で次世代の幼虫の発生を抑えることができます。
- 米国・台湾向け茶の輸出において、残留基準値が設定されました。

吸汁性害虫からチョウ目害虫まで
幅広い殺虫スペクトラム(クロススペクトラム)



チャノミドリヒメヨコバイ



チャノキイロアザミウマ



チャノコカクモンハマキ



チャハマキ

●チャノコカクモンハマキに対する成虫期防除試験結果

供試薬剤	希釈倍数	幼虫頭数/m ²					防除率 (%)
		成虫期防除 (発蛾最盛日2日後)		慣行防除 (発蛾最盛日10日後)			
		I	II	III	IV	平均	
エクシレル [®] SE	2000倍	1.38	—	—	—	1.38	73.1
A剤	2500倍	1.62	—	—	—	1.62	68.4
A剤慣行防除	2500倍		1.20	2.60	2.40	2.07	59.6
無処理区			3.40	8.40	3.60	5.13	—

試験担当部署：静岡県茶業研究センター
 試験実施場所：静岡県牧之原市布引原
 区制・面積：I区50.4㎡、I区制、II区及びIII区50.4㎡、IV区25.2㎡、
 3区制チャノコカクモンハマキの発生状況：少～中発生
 発蛾最盛日：2016年8月2日
 薬剤散布：成虫期防除区は2016年8月4日(発蛾最盛日の2日後)に、慣行防除区は2016年8月12日(発蛾最盛日10日後)400ℓ/10a相当を動力噴霧機で散布。
 調査方法：2016年8月25日に各区の生存幼虫数を50cm×50cmの枠を用いてI区は枠200箇所(計50㎡)、II区とIII区は枠20箇所(5㎡)、IV区は枠10箇所(2.5㎡)を任意に調査。
 結果：エクシレル[®]SE 2000倍散布の成虫期防除(発蛾最盛日2日後)は高い防除効果を示した。

●チャノコカクモンハマキに対する感受性検定試験結果(処理10日後の補正死虫率%)

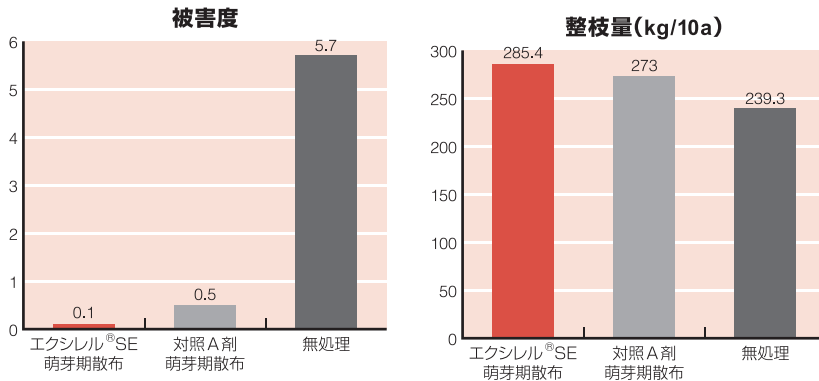
2015年					
供試薬剤	静岡市内牧	島田市湯日	菊川市倉沢	掛川市上内田	磐田市笠梅
エクシレル [®] SE 2000倍	100	96.2	100	100	100
B剤 2000倍	100	58.7	92.8	66.0	52.1

試験方法：左記の5箇所からチャノコカクモンハマキを雌成虫を20頭以上採取・採卵し、20～25℃条件で1～2世代累代飼育した後代の幼虫を薬剤感受性検定に供試した。薬剤無散布茶園から採取した成葉を用いたチャ葉浸漬法(小杉、1998)を改良した方法により実施した。1処理10頭(3反復)の2～3齢幼虫を用い、処理10日後に生死を判定した。苦悶虫は死虫に含んだ。処理後は25℃条件で静置した。

2016年					
供試薬剤	菊川市高橋	牧之原市布引原	牧之原市東萩間	御前崎市下朝比奈	掛川市入山瀬
エクシレル [®] SE 2000倍	100	100	90.0	96.2	95.4
B剤 2000倍	22.3	91.1	16.7	66.7	62.1

試験方法：左記の5箇所からチャノコカクモンハマキを雌成虫(10頭以上)または幼虫・蛹(100頭以上)で採取し、20～25℃条件で1～2世代累代飼育した後代の幼虫を薬剤感受性検定に供試した。食餌浸漬法(小杉、1998)を改良した方法により実施した。1処理10頭(3反復)の2～3齢幼虫を用い、処理10日後に生死を判定した。苦悶虫は死虫に含んだ。処理後は25℃条件で静置した。
 結果：エクシレル[®]SE 2000倍処理は2015年、2016年のいずれの採取箇所においても高い死虫率を示した。

●チャノミドリヒメヨコバイに対する高い効果

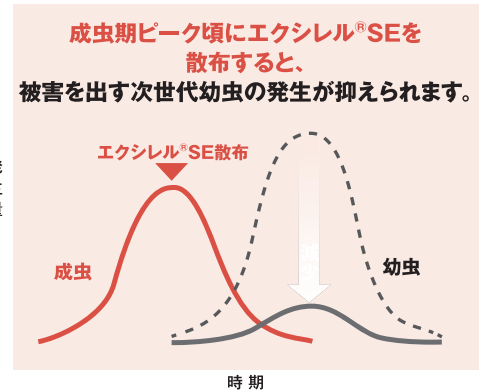


2013年 鹿児島県農業開発総合センター茶業部
【試験概要】
 品 種：やぶきた
 区 制：3区制 1区10.8㎡
 処理日：8月14日、8月19日
 調査日：8月28日
 発生量：多発生(チャノミドリヨコバイ)

エクシレル[®]SEはチャノミドリヒメヨコバイに対して、速やかに摂食活動を阻害し、結果として整枝量が増加しました。そのため、エクシレル[®]SEを秋芽時期に使用することで、次年度の茶作りに貢献します。

●成虫期防除

エクシレル[®]SEは、成虫を対象に発蛾最盛期に防除を行うことで、成虫の正常な交尾や産卵を抑制し、次世代の幼虫の発生を低く抑えることができるため、チャノコカクモンハマキ、チャハマキへの高い効果を期待できます。



■適用害虫と使用方法(適用表より一部抜粋)

2019年8月現在

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	シアントラニリプロールを含む農薬の総使用回数
茶	ヨモギエダシヤク チャハマキ チャノコカクモンハマキ チャノホンガ チャノミドリヒメヨコバイ チャノキイロアザミウマ マダラカサハラハムシ ハスモンヨトウ	2000倍	200～ 400ℓ/10a	摘採7日前まで	1回	散布	1回

その他の適用作物：かんきつ、かんきつ(苗木)、ぶどう、なし、もも、ネクタリン、すもも、あんず、おうとう、りんご

- ラベルをよく読んでください。 ●記載以外には使用しないでください。 ●小児の手の届く所には置かないでください。
- 空容器は圃場などに放置せず、3回以上水洗し、環境に影響のないよう適切に処理してください。 ●洗浄水はタンクに入れてください。 ●防除日誌を記載しましょう。

